

講義名	中国語講読		
科目区分	グローバル		
担当教員	森 宏子		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 4時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

日本人が中国語を学ぶ上でのメリットはなんといっても漢字が分かること。そのため、私たち日本人にとって、中国語の講読は学びやすく、初級者でもある程度ボリュームのある文章が読めるようになります。講読を通して、中国語が分かる楽しさを知ってもらいたいと思います。まずは教科書レベルの規範的な文章から、余裕があれば、中国の故事（昔話）や、新聞記事などにもチャレンジしたいと思います。使用する教科書「変化する中国」は、今、中国で起きているいる現象が平易な中国語で書かれた教科書で、中国語を学ぶと同時に、この機会に中国への理解も深めてもらいたいと考えています。日ごろから、中国という国に関心をもって授業に臨んで下さい。

到達目標

中国語検定4級の講読問題が解ける力をつける

提出課題

適宜指示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

中間テストは返却し、講評を行います。

評価の基準

平常点（30％）、中間試験＋期末試験（70％）を総合的に判定します。

履修にあたっての注意・助言他

すでに中国語A、中国語Bなどで中国語の学習経験を有し、中国語の基礎がある人を対象としています。なお、中国人留学生は受講できません。教科書は、必ず各自購入し、授業に持参してください。

教科書				
・変化する中国	孟広学・本間史	白水社	2100+税	978-4-560-06922-2

プリント資料及び参考文献

必要に応じてプリントを配布します

授業計画

1. ガイダンス、初級文法のおさらい
 2. 「教育の公平」
 3. 「就職難」
 4. 「若者の結婚恋愛観の変化」
 5. 「ローンの奴隷」
 6. 「個人投資家」
 7. 「都市の消費ブーム」
 8. 中間テスト
 9. 「公務員になりたい族」
 10. 「家政婦」
 11. 「民は食をもって天となす」
 12. 「『80後』と『子供を育てて老後に備える』」
 13. 「老後の危機」
 14. 「ボランティア活動」
 15. 中国の故事
- ※1回の授業で1課を消化するペースを基本とします

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

（授業前）次の授業で学ぶ課に、目を通しておいってください。どんな文法が出てくるのか、分かるところと分からないところを事前に把握しておく、授業での理解度が格段にアップします。（約2時間）

（授業後）学んだところを、時間を置いてもう一度読み返し、ちゃんと理解できているかを確認しましょう。単語量が多いので、単語をしっかりと丁寧に覚えることが肝心です。授業時間内にできなかったドリルは宿題とします。（約2時間）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考